

スピード解説！！

5分でわかる！

会津若松市の公共施設マネジメント

現在、市が取組を進めている「公共施設マネジメント」について、

5分で解説します！

1 公共施設マネジメントって何！？

現在、これまでの人口増加や市民ニーズなどに応じて建設してきた公共施設等（学校、公民館、図書館などの建物や、道路、橋、上下水道などのインフラ設備）の老朽化が、全国的な課題となっています。

これは、本市においても同じで、近年の人口減少や市民ニーズの多様化をはじめとした社会環境の変化等を見すえながら、多くの公共施設等を、将来にわたって、安全で使いやすく、市民の皆さんにとって価値のある財産とし続けるために、それらの管理や整備について、従来とは違う、新しい考え方や取組が必要です。

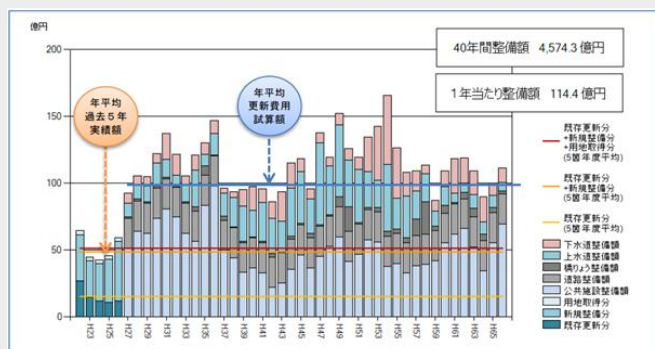
この、公共施設の管理などに関する、新しい考え方や取組を

『公共施設マネジメント』と言います。

データで見る 本市の公共施設等の現状と課題 ①

- ・建物：約 380 施設
- ・インフラ：道路 約 1,400 km、橋 約 7 km①、上下水道管 約 1,200 km、公園 212 万㎡など
- ・将来の整備費の推計額：約 **114 億円**／年
- ・整備費の実績額：約 **50 億円**／年

約 4 割しか維持できない！？



グラフ：「会津若松市公共施設等総合管理計画（H28 策定）」より

2 会津若松市が目指すよりよい未来

市では、「公共施設マネジメント」の取組を通じて、市民の皆さんと

よくない未来：何もしなければどうなるの？

ケース1：老朽化による事故などの発生

施設の老朽化が進むことで、破損や事故などが発生し、施設が利用できなくなったり、最悪の場合、利用者の方がケガをしたり、命を失ったりする恐れがあります。



写真：笹子トンネル天井崩落事故
(2012年12月2日 山梨県大月市)

ケース2：利用率などの低下・施設の負債化

老朽化した施設や使いにくい施設をそのままにすると、利用者が減り、使われなくなっていくことで、さらに改修などの対応が遅れるという悪循環が発生します。

また、そうした施設でも維持費はかかるため、古くて使いにくい施設が「負債」として将来まで残ってしまいます。

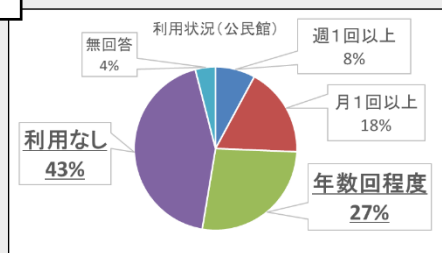
データで見る 本市の公共施設等の現状と課題②

・施設の利用状況：

大半の施設があまり利用されていない

※比較的利用の多い公民館でも

「年数回程度」と「利用なし」の方が60%以上



グラフ：「公共施設マネジメントアンケート（H26実施）」より

ケース3：まち・地域の空洞化、価値の低下

古く、使われない施設が増えることで、これまで行われていた市民活動や地域の皆さんの交流の衰退、コミュニティの空洞化などにつながります。



また、老朽化した施設が、まちの魅力や価値を低下させます。

一緒に、“よりよい未来”をデザインし、実現したいと考えています。

よりよい未来：「公共施設マネジメント」でつくる明るいまち

取組 1：計画的な点検・予防型の保全

定期的に点検を行い、修繕等が必要な個所の把握に努めます。また、壊れてから対応するのではなく、計画※に基づき、早めの修繕等を行うことで、費用を抑えながら、安全性を確保していきます。

※平成 30 年度「公共施設保全計画」を策定



写真：職員による施設点検の様子
(イメージ)

取組 2：施設の新しい活用・複合的な利用などの検討

施設の大規模な改修や建替えなどにあたっては、行政サービスの組み替えや、他団体・民間のサービスとの共同利用・複合的な利用などを検討し、社会環境や人口規模、多様化するニーズなどに応じた、使いやすい施設を整備していきます。

また、日頃から、市民の皆様とともに、施設のより柔軟な使い方や効率的な管理運営方法などを考え、実践していくことで、公共施設を、誰もが集い、交流できる場として有効活用していきます。

事例 1：支所の会議室をサークル活動で利用
(北会津地区)



事例 2：地域の施設で地域住民が案内所を開設
(湊地区)



取組 3：まちの活性化・魅力向上

市民の皆様をはじめ、企業・団体・行政が一体となって、公共施設を住民サービスの拠点として活用し、多様な方が集い、つながりや活動を生み出すことで、地域コミュニティの再生や地域・まち全体の活性化につなげていきます。



事例 3：武蔵野プレイス
(東京都武蔵野市)

3 一人ひとりにできること ～ 知ろう・参加しよう！！

公共施設を取り巻く様々な課題を乗り越え、よりよいまちづくりを実現するためには、市民の皆さんの取組への理解と参画が欠かせません。

立場や状況によって、一人ひとりの「できること」は変わりますが、同じまちの一員として、よりよい未来を目指して、取り組んでいきましょう！

できること①:知る！

- ・公共施設の情報を知ろう！

現在、全ての公共施設の情報をHPで「施設カルテ」として公表しています。施設の経過年数や利用状況、コスト、工事履歴などを知ることができます。



◀ 施設カルテ (イメージ)



▶ ホームページ 各種計画



- ・ホームページなどで取組を知ろう！

公共施設マネジメントの考え方や取組の内容は、「計画」としてホームページで公表しています。また、これまでの取組の成果なども確認できます。

できること②:参加する！

- ・ワークショップなどに参加しよう！

定期的にセミナーやワークショップなどを開催して、取組に対する市民の皆さんの意見やアイデアを募集しています。ぜひご参加ください！



セミナー



ワークショップ

▲ 各種セミナーやワークショップ (WS)



イベント

修繕WS

見学会

▲ 住民参加型の取組 (写真はイメージです)

- ・地域の活動に参加しよう！

お住まいの地域で公共施設などを活用した取組が行われる際には、ぜひご参加ください！

「公共施設等総合管理計画」副読本

5分でわかる会津若松市の公共施設マネジメント (第1版)

企画・制作：会津若松市 財務部 公共施設管理課

問い合わせ：TEL 0242-23-7087 / Fax 0242-39-1454

今すぐアクセス！

公共施設
マネジメント
ホームページ

